

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月2日

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神澤 陸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 佐藤 公衛

TEL 0263-25-9081

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	47,502	2.7	6,430	36.4	6,918	47.8	4,205	68.6
21年3月期第3四半期	46,251	—	4,713	—	4,680	—	2,493	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	77.47	—
21年3月期第3四半期	45.95	44.12

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	144,847	123,220	85.0	2,266.99
21年3月期	140,181	118,415	84.4	2,177.96

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 123,057百万円 21年3月期 118,249百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年3月期	—	16.00	—		
22年3月期 (予想)				16.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	△2.4	6,100	△4.6	6,600	6.9	4,000	94.1	73.69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 56,911,185株 21年3月期 56,911,185株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 2,628,822株 21年3月期 2,617,582株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 54,288,719株 21年3月期第3四半期 54,273,902株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、諸外国における景気対策効果や在庫調整の進展などに伴い輸出の改善や生産の回復が見られましたものの、ドル安円高基調の進展に加え、設備過剰感の下での設備投資の減少や景気低迷下での厳しい雇用・所得環境など引き続き厳しい状況下であり、依然として先行き不透明感を払拭できない中に推移しました。

医薬品業界におきましては、後発品の使用促進策等の医療費抑制施策が引き続き推進されるなど一層厳しい状況にありましたほか、平成22年度薬価制度改革において新たな制度である新薬創出・適応外薬解消等促進加算を試行的に導入する一方で長期収載医薬品の追加引下げを実施することが決定されております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業収益の悪化に伴うIT投資及び設備投資の大幅な減少や内需の低迷などを背景に依然として厳しい競争環境下にありました。

このような情勢の中で、医薬品事業におきましては、平成21年2月に新たに錠剤を発売いたしました前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ<sup>®</sup>」、同月に効能追加（チアゾリジン系薬剤との併用療法）の承認を取得いたしました糖尿病治療薬「グルファスト<sup>®</sup>」及び口腔乾燥症状改善薬「サラジェン<sup>®</sup>」の育成を図るとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。また、当社が創製し海外に技術導出した前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）につきまして、ワトソン社（アメリカ）では製品名「RAPAFLO<sup>®</sup>」として平成21年4月に、またチョンウェ製薬（韓国）では製品名「THRUPAS<sup>®</sup>」として平成21年9月に新発売いたしました。

研究開発面では、平成20年11月に共同開発先である日本ケミカルリサーチ株式会社より承認申請されました腎性貧血治療薬（遺伝子組換えヒトエリスロポエチン、開発番号JR-013）の承認取得に向けたフォローを行いましたほか、悪性中皮腫治療薬（抗CD26ヒト化抗体、開発番号YS110）の臨床試験を開始するなど、各テーマの研究開発を推進いたしました。JR-013につきましては、本年1月20日付で「エポエチンアルファBS注JCR」として製造販売承認を取得いたしましたことから、薬価基準収載後に販売を開始いたします。また、中国において当社が承認申請を行っておりましたグルファストにつきましては、平成21年11月に承認を取得いたしました。販売は中国国内における販売権を供与いたしましたエーザイ株式会社が担当します。なお、当社が創製しグラクソ・スミスクライン社（イギリス）に技術導出した新規糖尿病治療薬レモグリフロジン（一般名）につきまして、同社ではSGLT2阻害剤の競合他社による開発状況等を勘案した結果、本剤の開発を中止することを決定しております。

このほか、昨年10月にユーシービージャパン株式会社が製造し当社が販売いたしております血圧降下薬「シナロン錠<sup>®</sup>10」の一部にプラセボ錠（有効成分を含まない試作品）が混入していたことが判明いたしましたことから、市場からの全品回収を行いました。

その他の事業におきましては、グループ各社の事業構造改革とシナジー効果の創出によるグループ経営基盤の強化に積極的に取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間におきましては、連結子会社キッセイコムテック株式会社と非連結子会社キッセイウェルコム株式会社が経営資源の集中と効率化による事業強化を目的に平成21年12月1日付で合併いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高475億2百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益64億3千万円（前年同期比36.4%増）、経常利益69億1千8百万円（前年同期比47.8%増）、四半期純利益42億5百万円（前年同期比68.6%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、医薬品事業におきましてはライセンスアウトなどに伴う技術料売上が減少いたしましたほか、既存製品が後発品・競合品による影響などにより減少いたしました。新製品のユリーフ、グルファスト、サラジェンなどが増加いたしましたことから、売上高は414億3千4百万円（前年同期比0.2%増）となりました。その他の事業におきましては、情報サービス業において減収となりましたが、建設請負業及び物品販売業において増収となり、売上高は60億6千8百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,448億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億6千6百万円（3.3%）増加しました。流動資産は853億3千5百万円となり、33億7百万円増加しております。主な要因は、現金及び預金が増加したことによります。固定資産は595億1千2百万円となり、13億5千9百万円増加しております。主な要因は減価償却による減少の一方、保有株式の株価上昇により投資有価証券が増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は216億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3千8百万円（0.6%）減少しました。流動負債は155億4千4百万円、固定負債は60億8千3百万円で、前連結会計年度末と比べ大きな増減はありません。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,232億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ48億4百万円(4.1%)増加しました。主な要因は利益剰余金、株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加であります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.4%から85.0%となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より20億8千9百万円増加し、当第3四半期連結累計期間末では447億3百万円(前連結会計年度末比4.9%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期比13億7千5百万円増の55億7千9百万円となりました。主な要因は仕入債務の減少及びその他流動負債の減少による支出の増加はありましたが、税金等調整前四半期純利益の増加、及びたな卸資産の減少による支出の減少、法人税等の支払額が減少したことなどによります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期比2億9千2百万円支出増の17億1千万円の支出となりました。主な要因は有価証券の売却・償還による収入及び投資有価証券の売却による収入は増加しましたが、有形固定資産の取得及び投資有価証券の取得による支出が増加したことなどによります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期比117億7千8百万円支出減の17億9千5百万円の支出となりました。主な要因は前年同四半期に第2回無担保転換社債の償還による支出があったことなどによります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年11月9日発表の連結業績予想から変更しておりません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、貯蔵品等一部の棚卸資産において実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### (完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更)

受注制作のソフトウェア(ソフトウェアの開発契約)及び工事契約に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)が適用されたことに伴い、第1四半期連結会計期間に着手した契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について、成果の確実性が認められる場合については工事進行基準(進捗度の見積りは原価比例法)を、その他の場合については工事完成基準を適用しております。

なお、これによる売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,856	16,801
受取手形及び売掛金	25,191	23,085
有価証券	24,895	26,362
商品及び製品	4,729	5,032
仕掛品	561	1,202
原材料及び貯蔵品	3,749	4,089
繰延税金資産	1,866	1,952
その他	4,558	3,577
貸倒引当金	△75	△74
流動資産合計	85,335	82,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,585	35,382
減価償却累計額	△23,414	△23,459
建物及び構築物（純額）	11,171	11,922
土地	13,368	13,415
建設仮勘定	414	16
その他	13,731	14,148
減価償却累計額	△11,284	△11,134
その他（純額）	2,447	3,014
有形固定資産合計	27,401	28,368
無形固定資産	1,882	2,251
投資その他の資産		
投資有価証券	27,581	23,128
繰延税金資産	766	2,267
その他	1,932	2,185
貸倒引当金	△52	△49
投資その他の資産合計	30,228	27,532
固定資産合計	59,512	58,152
資産合計	144,847	140,181

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,773	5,698
短期借入金	2,367	2,402
未払法人税等	1,757	521
賞与引当金	990	1,937
その他の引当金	712	730
その他	3,942	4,646
流動負債合計	15,544	15,938
固定負債		
長期借入金	917	841
退職給付引当金	3,649	3,434
役員退職慰労引当金	112	103
その他	1,404	1,448
固定負債合計	6,083	5,827
負債合計	21,627	21,765
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,254	24,253
利益剰余金	75,417	72,894
自己株式	△4,323	△4,300
株主資本合計	119,704	117,204
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,352	1,044
評価・換算差額等合計	3,352	1,044
少数株主持分	162	165
純資産合計	123,220	118,415
負債純資産合計	144,847	140,181

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	46,251	47,502
売上原価	15,985	16,284
売上総利益	30,265	31,218
返品調整引当金戻入額	24	21
返品調整引当金繰入額	25	15
差引売上総利益	30,264	31,224
販売費及び一般管理費	25,551	24,793
営業利益	4,713	6,430
営業外収益		
受取利息	175	93
受取配当金	525	507
その他	102	149
営業外収益合計	803	749
営業外費用		
支払利息	92	35
有価証券評価損	454	—
有価証券売却損	—	14
投資事業組合運用損	—	142
その他	289	69
営業外費用合計	836	262
経常利益	4,680	6,918
特別利益		
固定資産売却益	80	—
投資有価証券売却益	—	8
受取和解金	—	65
特別利益合計	80	74
特別損失		
投資有価証券評価損	492	45
減損損失	—	328
その他	26	190
特別損失合計	518	564
税金等調整前四半期純利益	4,242	6,427
法人税、住民税及び事業税	1,531	2,201
法人税等調整額	212	23
法人税等合計	1,744	2,225
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△3
四半期純利益	2,493	4,205

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,242	6,427
減価償却費	2,740	2,414
引当金の増減額 (△は減少)	△2,444	△742
減損損失	—	328
受取利息及び受取配当金	△701	△600
支払利息	92	35
為替差損益 (△は益)	3	2
有価証券売却損益 (△は益)	—	14
有価証券評価損益 (△は益)	454	△88
有形固定資産売却損益 (△は益)	△80	—
固定資産処分損益 (△は益)	12	61
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	85
投資有価証券評価損益 (△は益)	492	45
受取和解金	—	△65
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,293	△2,116
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,217	1,302
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	131	△847
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,228	74
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2,269	△583
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	1,379	△0
その他	180	200
小計	5,489	5,948
利息及び配当金の受取額	639	564
利息の支払額	△89	△35
和解金の受取額	—	65
法人税等の支払額	△1,835	△963
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,204	5,579
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△65	△83
定期預金の払戻による収入	86	112
特定金銭信託の払戻による収入	30	—
有価証券の売却及び償還による収入	0	476
有形固定資産の取得による支出	△848	△1,164
有形固定資産の売却による収入	118	19
国庫補助金等受入による収入	159	159
無形固定資産の取得による支出	△100	△349
投資有価証券の取得による支出	△826	△1,203
投資有価証券の売却及び償還による収入	1	324
貸付けによる支出	△188	△248
貸付金の回収による収入	215	304
長期前払費用の取得による支出	△8	△32
その他	6	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,418	△1,710



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	770	410
短期借入金の返済による支出	△650	△510
長期借入れによる収入	—	122
長期借入金の返済による支出	△46	△46
リース債務の返済による支出	△79	△66
社債の償還による支出	△11,920	—
自己株式の取得による支出	△87	△24
自己株式の売却による収入	12	1
配当金の支払額	△1,574	△1,683
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,574	△1,795
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,791	2,070
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	18
現金及び現金同等物の期首残高	45,874	42,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,083	44,703

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	41,342	4,909	46,251	—	46,251
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,676	2,676	(2,676)	—
計	41,342	7,585	48,928	(2,676)	46,251
営業利益	4,500	19	4,520	193	4,713

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	41,434	6,068	47,502	—	47,502
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,904	2,904	(2,904)	—
計	41,434	8,972	50,407	(2,904)	47,502
営業利益	6,161	132	6,294	136	6,430

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. その他の情報

### 販売実績

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
その他代謝用薬	3,179	6.9	3,755	7.9	575	18.1
神経系用薬	3,340	7.2	2,749	5.8	△591	△17.7
感覚器官用薬	2,398	5.2	2,231	4.7	△166	△6.9
循環器官用薬	10,204	22.1	8,919	18.8	△1,285	△12.6
消化器官用薬	2,037	4.4	2,181	4.6	144	7.1
ホルモン・泌尿生殖・血液体 液用薬	11,253	24.3	12,499	26.3	1,245	11.1
アレルギー用薬	1,889	4.1	1,737	3.6	△151	△8.0
その他	7,039	15.2	7,361	15.5	321	4.6
計	41,342	89.4	41,434	87.2	92	0.2
その他の事業	4,909	10.6	6,068	12.8	1,159	23.6
合計	46,251	100.0	47,502	100.0	1,251	2.7
(うち輸出高)	(1,942)	(4.2)	(1,506)	(3.2)	(△435)	(△22.4)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

平成22年3月期 第3四半期決算短信 補足資料

1. 連結決算概要

(百万円)

項目	平成21年3月期		平成22年3月期			
	第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
売上高	46,251	64,535	47,502	2.7%	63,000	△ 2.4%
営業利益 (売上高比%)	4,713 (10.2)	6,393 (9.9)	6,430 (13.5)	36.4%	6,100 (9.7)	△ 4.6%
経常利益 (売上高比%)	4,680 (10.1)	6,174 (9.6)	6,918 (14.6)	47.8%	6,600 (10.5)	6.9%
当期純利益 (売上高比%)	2,493 (5.4)	2,061 (3.2)	4,205 (8.9)	68.6%	4,000 (6.3)	94.1%
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費) (売上高比%)	25,551 (8,292) (17.9)	34,422 (11,556) (17.9)	24,793 (7,515) (15.8)	△ 3.0% (△ 9.4%)	35,300 (12,180) (19.3)	2.6% (5.4%)
輸出高	1,942	2,917	1,506	△ 22.4%	1,700	△ 41.7%

2. 主要医薬品売上高

(百万円)

製品名	平成21年3月期		平成22年3月期			
	第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
排尿障害改善薬 ユリーフ	4,525	6,288	6,605	46.0%	9,100	44.7%
糖尿病治療薬 グルファスト	3,179	4,297	3,755	18.1%	5,000	16.4%
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	504	664	633	25.5%	850	28.0%
高脂血症治療薬 ベザトール	6,826	8,788	6,726	△ 1.5%	8,800	0.1%
血圧降下薬 シナロング	1,008	1,193	560	△ 44.5%	600	△ 49.7%
切迫流・早産治療薬 ウテメリン	4,313	5,450	3,840	△ 11.0%	4,930	△ 9.5%
脳循環改善薬 キサンボン	2,369	2,921	1,632	△ 31.1%	2,010	△ 31.2%
アレルギー性結膜炎治療薬 リザベン点眼液	1,518	2,943	1,405	△ 7.4%	2,570	△ 12.7%
アレルギー性疾患治療薬 リザベン	1,530	2,086	1,460	△ 4.5%	1,960	△ 6.0%
気管支喘息治療薬 ドメナン	358	482	276	△ 22.9%	360	△ 25.3%
パーキンソン病治療薬 カバサル	3,191	3,953	2,511	△ 21.3%	3,250	△ 17.8%
血液凝固阻止剤 フラグミン	1,102	1,389	1,020	△ 7.4%	1,290	△ 7.1%
緑内障・高眼圧症治療薬 リズモンT G点眼液	880	1,125	826	△ 6.1%	1,040	△ 7.6%
子宮内膜症治療薬 ゾラデックス1.8mgデポ	588	740	548	△ 6.9%	660	△ 10.8%
活性型ビタミンD <sub>3</sub> 製剤 フルスタン	532	670	486	△ 8.7%	610	△ 9.0%

### 3. 新薬開発状況(自社)

(平成22年2月現在)

開発段階	製品名／ 開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認取得	エトピチナルファBS注「JCR」	導入品／日本ケミカルリサーチ共同 開発	透析施行中の腎性貧血、未熟児貧血	赤血球増加作用	バイオ後続品
承認申請準備中	KMV-0207	自社開発	2型糖尿病における食後血糖推移の 改善	速効・短時間型インスリン分泌促進作用＋ $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害作用	ミチグリニド・ ボグリボース 配合剤
第Ⅲ相	KUC-7483	創製品	過活動膀胱	$\beta$ 3受容体刺激作用	
第Ⅱ相	KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH) 作用	
第Ⅰ／Ⅱ相	YS110	導入品／ワイズセラピューティクス、 東京大学、科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノクローナル抗体	治験実施地域： フランス

※前回公表時(平成21年11月)からの変更点：①エトピチナルファBS注「JCR」：承認申請中→承認取得

## 4. 新薬開発状況(導出)

(平成22年2月現在)

開発段階	一般名／ 開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認取得	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ(日本)	中国	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
		オリエントユーロ(台湾)	台湾、香港		
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ(日本)	※1 アセアン(10カ国)	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)	レコルダッチ(イタリア)	欧州、中東、アフリカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用
		第一三共(日本)	中国		
シンモサ(台湾)	台湾、香港				
承認申請準備中	シロドシン (silodosin)	エーザイ(日本)	アセアン(10カ国)、インド、スリランカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用
第Ⅲ相	ミチグリニド (mitiglinide)	エリキシア(アメリカ)	北米、中米、南米	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
		USV(インド)	インド		
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β2受容体刺激作用
	トラニラスト (tranilast)	ニュオンセラピューティックス (アメリカ)	日本、韓国を除く全世界	関節リウマチ	サイトカイン、ケミカルメディエーター、 活性酸素遊離・産生抑制作用
第Ⅰ相	KGA-3235	大日本住友製薬(日本)	日本	2型糖尿病	SGLT1阻害作用
		グラクソ・スミスクライン(イギリス)	欧米他		
	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β2受容体刺激作用

※前回公表時(平成21年11月)からの変更点: ①ミチグリニド(中国): 承認申請中→承認取得、②ミチグリニド(台湾): 第Ⅲ相→承認取得

※1: 承認: フィリピン、タイ/申請中: 3カ国/申請準備中: 5カ国